

子宮頸がんワクチンは 本当に必要か？



「不都合な真実」をたどす

名古屋で、「もっと知りたい女のからだ」というテーマの分科会に日進市白井市議、豊明市山盛市議とともにパネリストとして参加。子宮頸がんワクチンワクチンの選択は政治、政党、製薬会社などが大いに関与。不都合な真実は隠され、今回重篤な子どもたちは未だに後遺症が続いている。国が決めたからといって鵜呑みにするのではなく、自分たちの身は自分たちで守らなくてはと思い知らされた内容であった。

一隅を照らす 市民の声

先日「議会と語る会」に参加しました。しかし、議員からの報告は済んだことばかりで全く聞く価値のないものでありました。住民からの質問は一人一問のみと制限があり、時間もほんのわずかで住民の声を聴こうとする態度が見られませんでした。期待した答弁もなく、将来非常に不安になりました。また、インベションを起こすのは非常に大変だと思いましたが、正直、全員危機感がなさすぎだと感じました。 M. S

説明会が一度も開かれない 広域ごみ焼却施設建設

平成19年に半田、常滑、武豊、美浜、南知多で、広域のごみ焼却場建設候補地として半田市と決定していた。しかし乙川などにダイオキシンが検出されたため、他市町に代替候補地の選定をせまられていた結果、評価点数90点で武豊町が有力候補地となった。平成9年からスタートした広域ごみ焼却建設費165億円税金投与の事業に、市民に一度も説明がないことはとても不自然である。皆さんどう思われますか？

駅頭報告 11月



13日(水)大野町駅 いずれも7時～8時
14日(木)榎戸駅 きょう子通信配布の
15日(金)常滑駅 お手伝い募集中♪

お知らせ

12月議会 12月6日(金)～19日(木)
一般質問 9日(月)・10日(火)

Cafe de 情報交換

この情報交換は、紙面だけでは伝えられない内容の報告や、皆様の意見を市政に反映するための機会です。お待ちしております。

11月17日(日)

10時～ 大野町きょう屋

19時～ 中央公民館



分別方法をチェック！

ごみ分別後の処理場見学

「530とこなめ」主催の見学会に参加。プラスチック容器包装工場テクアでは、プラスチックには程遠い針金、タイヤ、缶、ホース、ブルーシート、ゴム手袋、ケチャップ、マヨネーズなど中身の入った調味料などが毎回入っているという。常武



ではビン、缶処理場ではビンの蓋を取らないで出したり、汚れたまま出ている。ワグさんで



は紙分別も利用できないものがあつたり。牛乳パックが紙ごみに入ってきたりする。

今回見学をして分別方法が間違っていることに気づかされた。これらの資源をきちんと出さなければ逆にお金がかかってしまう。皆様も今一度分別方法をチェックしましょう。

きょう子通信

2013年11月
No.28



常滑市議会議員 井上 恭子

ご意見 〒479-0866 常滑市大野町6-56(大野町きょう屋内)
ご相談は TEL/FAX:42-1307 E-mail:kyo-ya@infoseek.jp

「きょう子の部屋」ブログをご覧ください。 <http://kyoya5052.blog52.fc2.com>

9月議会 きょう子の 一般質問

危険な公共施設の修理・更新の実施を早急に

問 現在小中学校の施設校舎などの危険箇所がどれくらいあると認識しているか。
答 危険度が高まっている箇所は応急対応を実施。現在常西小学校は大規模改修を、



小中学校のトイレ改修も行っていく。その他は26年以降各年2億円の修繕増額を見込む。

問 常滑市民病院の底からコンクリート片が落下し、フロントガラスがひび割れた。他の事業を削減してまでも子供の安心安全を優先してほしい。

答 庁内研究チームで再度調査し、現場を見て対応していきたい。

きょう子コメント

常滑市は昭和30～40年代に建設された公共施設が100施設以上あり、雨漏りのため天井落下、コンクリート片落下、プール施設設備故障など、家庭では考えられないほど老朽化が進んでいる。

審議会などに女性の積極的な登用を

問 プランでは、審議会等への女性登用率目標30%とあるが、13年間実行されてない。職員は行う義務があるのでは。クォーター制の導入を考えたらどうか。

答 そのためには要綱改正が必要。女性の意見は大事で必要であるので女性登用率を上げていきたい。

男女共同参画社会基本法第9条で地方公共団体は・・・施策を策定し、及び実施する責務を有する。クォーター制 事前に割当た数を導入。

きょう子コメント

老人介護などの福祉関係、教育問題、防災など、現場を知る女性の意見反映が今後不可欠である。審議会の議事録もインターネット上にも公開されておらず、職員の市民への責務を怠っている状況である。今後強く要望をしていく。

市長のリーダーシップの強化を

問 市長の一層のリーダーシップ力の発揮を可能とさせる組織やシステムをどのように構築しているか。

答 庁内の情報共有は勿論、市内外への情報提供、情報発信を進めつつ、市民の意見を踏まえ、市長の方針のもとに市政の運営、施策の推進に努めている。行財政改革の目標値も上がっている。旗振りが弱ければもっと常滑再生に向けて頑張っていきたい。

きょう子コメント

市長は情報共有と言っているが、まだまだ職員間も市民に対しても情報は不足している。特に縦割りの弊害が、職員全体が財政を把握していない現状が見受けられる。これは問題である。市長へのリーダーシップの質問にもかかわらず、ほとんど部長が答弁。これはリーダーシップが取れていると言えるのであろうか。